

重要取組課題



# 次世代育成



## サステナブルな社会づくりに貢献する 次の世代を育成し、未来をつくります。

### 子どもの心身の成長に、多角的に貢献します

育児用調製粉乳の製造・販売を行っている森永乳業では、子どもたちの健康と栄養を常に考え、研究を続けてきました。そして、多くの商品を開発・販売することで、子どもたちの成長に貢献してきました。

しかし、社会と企業との関係、社会が企業に求めるものは、時代とともに変わりつつあります。

商品だけでなく、企業が蓄積してきたノウハウや知見を活かし、子どもたちの心身の成長に貢献することが求められていることから、森永乳業は、「未来をつくる子どもたち」へのプログラムを作成し、提供しています。

### 子どもの成長を支援する多彩なプログラム

森永乳業は、未来をつくる子どもたちが、生活全般において、自ら考え、情報を選び取り、生きる力を身につけてもらいたいという想いから、「出前授業」「森永リトルエンゼル育成 森と食の探検隊」「キッザニア ミルクハウス」などの活動を行っています。

また、これからの社会を担う子どもたちの育成を支援する活動として、企業訪問などへの対応も

行っています。子どもたちが、どのように未来を見つめ、切り拓いていくのか、「働く」ことに何を見いだすのか。子どもたちとともに向き合い、「よき先輩」としてアドバイスできる機会を積極的につくっています。

### 食の大切さを伝える

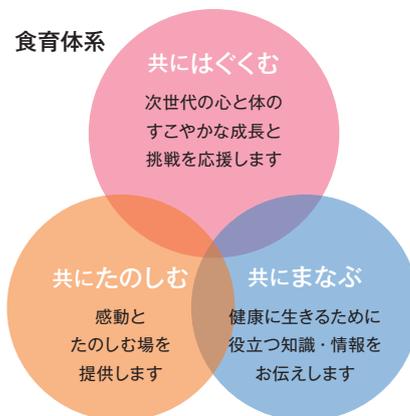
森永乳業は、2017年に「食育方針」を策定しました。多様な暮らし方やあふれる情報など、食を取り巻く環境は変わりつつあります。お客さまに寄り添い、毎日と未来のために、笑顔と健康な暮らしを食育活動でともに支えます。

その一環として、森永乳業の社員が講師となる「パッケージから牛乳のひみつを探ろう」が2015年にスタートしました。小学校向け出前授業で、自ら食品を選ぶ力「食選力」を養います。現在は首都圏のみの活動ですが、より広く展開したいと考えています。

子どもたちに「食」の大切さを伝える活動は、関わる社員一人ひとりが、森永乳業の未来とともに社会の未来を考える大切な機会となります。今後も、「かがやく“笑顔”」をめざす事業の一環として、次世代を育成する活動に力を入れていきます。

森永乳業の食育方針

全世代の  
かがやく“笑顔”のために  
共にはぐくみ  
共にたのしみ  
共にまなびます



この項目の森永乳業グループの活動は、SDGsの以下の目標に関連しています。





## 子どもの成長を支援する



上：木登りで挑戦する力、危機管理能力を身につける 下：ライフジャケットで溪流を下るキャニオニング

### 森永リトルエンゼル育成 森と食の探検隊

### 自然の中の共同生活で 生きる力を身につける4泊5日

「森永リトルエンゼル育成 森と食の探検隊」は、森永乳業が2015年から実施している野外教育活動です。活動理念は、「大自然の中での直接体験を通して、生きる上で大切なものを自ら発見する」。小学校4～6年生の30人の子どもたちが参加し、夏休みに那須塩原のキャンプ場で4泊5日の共同生活を送ります。

自然の中で力を合わせてのテント設営や、炊飯、片付け、農作物の収穫、川で掴み取りしたマスを自分たちでさばくなどの体験を通して、仲間と協力し尊重し合うことの大切さ、共同生活

の中で自分の役割を見つけやり遂げることの困難さなどを学びます。

また最終日には、森永乳業東京多摩工場の見学も実施。生産現場で商品になるまでの過程を実際に見ることで、自分たちが普段食べているものがどのようにできているかを知り、理解します。

4泊5日の体験の中で、子どもたちが様々なことに挑戦し、自ら考え、行動する姿勢を身につけることが、未来を生きる力につながります。

### キッズニア 「ミルクハウス」

### 商品開発体験を通して 子どもたちの挑戦と成長を応援

子どもたちがあこがれの仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる“子どもが主役の街”「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」に出展しています。森永乳業のパビリオン「ミルクハウス」では、子どもたちが「ミルクフードメーカー」となって、ベースとなる乳製品にソースやトッピングなどの組み合わせを考え、商品を完成させます。また、職業体験に参加できない3歳未満のお子さまのために、自由に遊べる「乳幼児エリア」を併設し、育児

用調製粉乳や離乳食を無料でご提供しています。

「ミルクハウス」での楽しい体験を通して、「お客さまに新しい『付加価値』を提供する職業を体験し、理解する」、「牛乳・乳製品に親しみを持つ」、「酪農業界への理解・関心を持つ」ということを子どもたちに伝えていきます。

2017年度には、東京：39,541人、甲子園：40,479人の方にパビリオンを体験いただきました。



「ミルクフードメーカー」になって、お客さまが喜ぶ商品を開発。商品開発シートがしまえる開発ノートももらえます



コミュニケーション本部 CSR推進部 CSR企画グループ アシスタントリーダー

森 絵里香

## Voice

### 子どもたちの未来に 真剣に取り組んでいます

「森と食の探検隊」には、その前身の「無人島探検隊」のときから企画・運営に参加しています。企画段階やキャンプ期間中には、大変なこともたくさんありますが、子どもたちにとって楽しくて意義深い5日間になるように、期間中もスタッフ同士でコミュニケーションをとり、どうすればもっとよくなるかを考えています。最終日、み

んなどことなくたくましくなって別れを惜しんでいる姿を見ると、本当にやっていたよかったと思います。

「森と食の探検隊」も「キッズニア ミルクハウス」も、子どもたちの未来に真剣に取り組む、森永乳業らしい活動だと思っています。こうした活動を通じて企業としての価値を感じていただけたらうれしいです。

## キャリア教育を支援する

### 企業インターワーク

### 課題に取り組み

### 思考力・判断力・表現力を育みます



スカイプを通して神奈川県  
高校生たちと対話する様子

株式会社トウワイス・リサーチ・インスティテュートが運営する中学・高校生を対象とした実践的なPBLプログラム(Program Based Learning)に、2014年から参画しています。企業が学校に出向く、またはスカイプなどの映像通信を利用した遠隔会議で、生徒たちが企業の提案する課題に取り組むプログラムで

す。生徒たちが主体的に調べ、その結果をプレゼンテーションし、人格形成、職業観、道徳観など社会に出たときに必要となる力を育みま  
す(2017年度、森永乳業から「ビフィズス菌が健康に良いことをアピールする」という課題を出題)。参加する生徒は年々ふえ、2017年度の森永乳業の課題への参加は、800名を超えました。

### 企業訪問

### 「働く人」と対面する機会に

中学・高校生の修学旅行などでの企業訪問にも対応しています。森永乳業の商品について、より深く知っていただくと同時に、実際の仕事内容や働きがいなどを、社員が生徒の皆さまにお伝えしています。商品をお客さまのお手元に届ける過程で、様々な社員が責任を持って役割を果たしていることを知り、生徒が将来の進路を考えるきっかけづくりになることを期待しています。

### 出前授業

### 将来は全国の拠点での展開をめざして



都内の小学校での出前授業で、牛乳と低脂肪牛乳を比較する子どもたち

当社社員が講師となる出前授業「パッケージから牛乳のひみつを探ろう」を小学校で積極的に展開しています。このプログラムは、牛乳と低脂肪牛乳の違いを五感を使って比較したり、パッケージから情報を読み取る力を身につけたりすることを狙いとし、他の食品を選ぶときにも応用できる「食選力」が身につけられます。

## 子育てを支援する

### エンゼル110番

### 情報があふれる時代だからこそ対話と寄り添う姿勢を大切に



相談員がていねいにお話をうかがい、悩みを解決する方法を一緒に考えます

妊娠中から小学校就学前まで、妊娠・育児に関する質問・疑問をお受けする無料電話相談「エンゼル110番」。2017年度は16,037件、1975年の開設以来、延べ95万件を超えるご相談にお応えしてきました。

インターネットでかんたんに情報が得られる時代ですが、いったいどの情報が正しいの

か、また、親世代の常識と最新の情報、どちらを信じたらよいのかなど、子育ての不安は尽きることがありません。匿名で相談ができ、専門知識を持つ相談員が個々のケースに寄り添って一緒に解決の道筋を考えられるようにサポートする「エンゼル110番」は貴重な存在。悩みを抱えるご両親だけでなく、祖父母の方からのご相談もふえています。相談員は広い視野を持つよう心がけ、より一層、真摯な対応をしています。